

つなぐ

ふるさと宇和島／南予

秋号
2022 No.20

ご自由にお取りください



特集 海を渡る謎多き蝶「アサギマダラ」

おかげで
うわ100周年

インタビュー 「あの時の言葉が私の心に火をつけた」 家具職人 兵頭 保長

スペシャル インタビュー「この世界は一粒の粉からはじまった」 映像作家 松浦 靖

俳優座劇場プロデュース No.116

音楽劇

人形の家

作=ヘンリック・イブセン
翻訳=原 千代海
演出=西川信廣
作曲・音楽=土田 亨
作詞=宮原芽映

出演

土居裕子 大場泰正
品中 洋 高橋美沙
進藤 忠 長浜奈津子
本田玲央 納田洸太
仙崎貴子 白倉裕人
音道あいり



土居裕子 (文芸座) 大場泰正 (俳優座) 品中 洋 (俳優座) 高橋美沙 (文芸座) 進藤 忠 (俳優座) 長浜奈津子 (俳優座) 本田玲央 (俳優座) 納田洸太 (俳優座) 仙崎貴子 (俳優座) 白倉裕人 (俳優座) 音道あいり (文芸座)

土居裕子



うわじま
アンバサダー

待望の帰郷公演

2022年 11月1日(火) 18:30 開演 (18:00 開場)

宇和島市立南予文化会館

- 料 金 指定席 5,000 円 一般席 4,000 円 中・高生 2,000 円 (2 階) ※税込。当日は各 500 円 UP
- チケット取扱 いわね楽器店 きさいや広場 西予市宇和文化会館 明屋書店宇和島明倫店 フジグラン北宇和島
- 主 催 公益社団法人 日本劇団協議会
- 後 援 宇和島市 宇和島市教育委員会 宇和島市文化協会 愛媛新聞社 宇和島ケーブルテレビ
コープえひめ JA えひめ南
- お問合せ 南予で演劇を観る会 089-943-2460 (日・月・祝休)
松山市北持田町 131-1 松山市民劇場内



つなぐ 2022 October 秋号

C o n t e n t s

- 02 エッセイ 「生身魂 (なまみたま)」 ローゼン 千津
- 03 撮り歩きなんよ 日吉二景「日向谷川の紅葉と武左衛門大銀杏」
写真家 北濱 一男
- 04 インタビュー 家具職人 兵頭 保長
「あの時の言葉が私の心に火をつけた！」
- 06 特 集 海をわたる謎多き蝶「アサギマダラ」 久保 政文
- 13 南予の祭り歳時記「野村秋祭り」 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本 敬久
- 14 スペシャルインタビュー 映像作家 松浦 靖
「この世界は一粒の粃からはじまった」
- 20 文ちゃんとどつぽの 予土線のあの人に会いたい 2
- 22 うわしん若手経営塾OB 若だんな 9 山口建具 代表取締役 山口 慶一郎
- 23 いのちのはなし
ゲーチョキパー 2 「さいしょは ぐー」 文/毛利 弘子
- 24 医 療 オミクロン株 (B A . 5) と新しいワクチン 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 25 新連載 食めぐり みかんの季節が始まりました！
管理栄養士 柑橘ソムリエ 和田 広美
シーフードマイスター
- 26 お気楽 俳句 小野 更紗 絵/律川 エレキ おすすめ本/岩崎書店
- 28 つなぐ美術館 ベにばら画廊/アトリエぱれっと
- 29 斗酒百篇 / 4コマ漫画「きさいやくん」



表紙 / 「モナリザ」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ、愛媛県宇和島市出身。
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。
現在は個展やイベントへの出品等で活動中。



天赦園 養老の滝 (撮影/北濱一男)



つなぐ秋号 No.20
〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21
0895-23-7000
年4回発行 (季刊誌)
配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか
発行 / 宇和島信用金庫
編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻純滋
本誌掲載内容の無断転載を禁じます

皆さんお久しぶりです。今年は私の身の上に大きな変化が起こりました。九年間住んだ山梨の山中湖村を引き払い、ここ愛媛に引っ越して戻りました。コンサートやレコーディングを共に行っていた方が亡くなり、コロナ禍でチェリストの夫の演奏会も減りました。松山に住む母も九十を超えました。富士山がいくら好きでも、そろそろ山暮しが寂しくなっていた頃でした。心を決めたらあつという間。思いがけず、道後の伊月庵（句会場）の隣に、またしても姉が家を見つけてくれました。テレビ番組の出演だけではなく、日本全国を飛び回って句会ライブ（老若男女に俳句の楽しみを伝える会）をしている姉夏井いつきを助けたい。夫ナサニエル・ローゼンのコンサートを愛媛で開催していきたい。そんな希望を持っています。

皆さんもぜひ一度、チェロの生の音色を聞きにきてください！

さて、今日のタイトルは「生身魂」。ご存じの方はいらっしゃいますか？ 俳句を始めるまで、私は聞いたこともありませんでした。これ、俳句の季語なんです。姉の出した本『絶滅寸前季語辞典（ちくま文庫）』にも、「年長者を『生身魂』として敬い、ご馳走をする、盆行事の一つ」と載っています。歳時記には、「蓮の葉に包んだもち米飯に、刺し鯖を添えて贈る」とも書かれています。実際にそういう物を贈ったことはありませんが、「生身魂」



生身魂

ローゼン千津

の季語で俳句を作りたい。生身魂（二人の母）にはできるだけご馳走をしたいと思っています。

テキーラも好き金髪の生身魂

朗善千津

この写真は、今年海外渡航が解禁になり、ロサンゼルスに住む義母ベティに三年ぶりに会いに行った時、メキシコ人街の家庭料理の店で食べたチレ・レジェーノ、です。辛味の無い大きなピーマン、チレ・ボブラーノの中にチーズやひき肉を詰め、卵と小麦粉の衣で揚げた料理。メキシコ米に豆のペーストをたっぷり添えてトマトソースで頂きます。昔一度かぶりついた細ピーマンが目から火が出るほど激辛だった経験以来、私はこの優しい味のピーマン料理を食べることにしています。お酒は絞ったライムにテキーラを入れたマルガリータ。グラスの縁の塩をなめなめ吸ります。本当は夫が残って親孝行する予定だったのですが、「これが顔を見る最後になるかもしれないね。日本から来てくれてありがとう。二人で仲良く」とと帰んなさい」と、九十五歳の生身魂が元気に送り出してくれました。松山に住む九十二歳の生身魂には、夫と二人で毎週会いに行きます。母の好きなジャムパンを三人で分けっこしたり、母が知っている英語の歌「ユー・アー・マイ・サンシャイン」を歌い、椅子に座った母

の手を取って夫がダンスしたり。アメリカ人の夫の手をしみじみと触って、「あなたはほんに色白やなあ」と、母が毎回言うのです。日本人は自分が黄色人種だと特に意識したことはないでしょう。初めて母が夫の腕のそばに腕をくっつけて見た時、「おちゃまあ！ あたしレモンみたいに黄色い！」と叫んだのです。信じられないでしょうが本当の事です。

小つちやくてレモンのやうな生身魂

朗善千津



ローゼン千津 ろうぜんちづ

ナサニエル・ローゼン公式ウェブサイト
<https://nathanielrosen.net/>



ミセス・ローゼンの道後日記
<https://blog.goo.ne.jp/msgecko>



(株)夏井&カンパニー・ライター。俳号朗善千津。いつき組組員。藍生俳句会会員。藍生新人賞。俳都松山の初代「はいくガイド」メンバー。チャイコフスキー国際音楽コンクール金メダルチェリストの夫ナサニエル・ローゼンの付き人。現在は松山市道後に住む。

夏井いつきと共著『寝る前に読む一句、二句。-クスリと笑える、17音の物語』
『食卓で読む一句、二句。お腹がぐーと鳴る、17音の物語』（株式会社ワニブックス）

撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



2017年11月14日撮影

日吉二景「日向谷川の紅葉と武左衛門大銀杏」

上の写真は、鬼北町日吉の紅葉です。広見川の上流、日向谷川をまたぐように枝が伸びていて、流れ落ちる滝を背景に撮影しました。この場所では、春の青い紅葉と秋の赤い紅葉が楽しめ、国道197号の少し外れの日吉橋原線の旧道で、最近新しくお堂が建てられています。

右の写真は、毎年11月中旬頃になると道の駅日吉夢産地近くで葉を黄色に染める大銀杏です。境内に散った銀杏の葉に紅葉の赤い葉が混じって綺麗な絨毯を敷き詰めます。町指定天然記念物に指定された大銀杏の傍には武左衛門の墓があり、近くの立て看板には木の寸法（幹回り6m高さ35m樹齢約460年）や武左衛門一揆にまつわるエピソードが記されています。



2017年11月14日撮影



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめるが、本格的な写真歴は約20年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。「撮り歩きなんよ」（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>

「あの時の言葉が私の心に火をつけた！」

家具職人 << HYODO YASUNAGA 兵頭 保長

今回は、今も日々家具の修理を手がける四国でも数少ない現役家具職人の兵頭保長さん（80）（以下…保長さん）にお話をうかがった。

郵便局員だった父は、子どもの頃から手先が器用だった保長さんには、喰いつぱぐれがないように手に職を付けさせようと考えていた。しかし、中学校を卒業した保長さんは就職先を決められずにいた。

16歳になって、ようやく宇和島市内の工業用モーターの修理などをやっていた町工場に就職した。だが、どうも自分には向いてないと3ヶ月ほどで辞めることになり、父親と共に工場を訪れると、主人から「お前みたいな奴は、どこへ行っても三日も続きやせん」と強烈な言葉を浴びせられた。

その後、和霊公園の横で、製造した家具を家具販売店に卸していた横田家具店に就職した（同様の工場が市内に30軒ほどあったという）。

当時、こうした工場には住み込みの丁稚奉公が当たり前で、4年と1年のお礼奉公を勤めあげれば一人前の職人として認められるという業界のルールがあった。しかも、一日の仕事は、朝7時から夜10時まで、休みは月に二日。小遣いは月500円で、素うどんが30円、三日に1回入る銭湯は13円だった。まさに「朝は

朝星、夜は夜星」の生活だった。

家具職人にとって鉋の刃砥ぎは欠かせない。それは真冬でも同じだ。氷ったバケツの水を割って刃を湿らせるのだが、ある時、どうやってつちも上手く砥げないので手元を見るとアカギレた手から出た血で砥石が真っ赤に染まっていたという。それでも保長さんは、町工場の主人から言われた、あの言葉を胸に「なにくそ」と仕事に打込んだ。^{※1}

横田家具店では、家具の丸三から材料を預かり、食器棚（当時は水屋と言っていた）などを製造し、無塗装の家具を家具の丸三へ卸していた。そして、家具の丸三は、納品された家具を塗装し販売していた。

「工場が山際にあったので、完成した家具を山もり、リヤカーに積んでそれを自転車で引つ張って、丸穂の丸三家具まで運んでいたのですが、専売公社の坂がきつくて、いつも自転車のペダルが折れるんじゃないかなと心配してました」

こうして、奉公4年とお礼奉公2年を勤めあげると、横田家具の大將から「自分は廃業して大阪に出稼ぎに出るから、丸三家具へ紹介してやる」ということで、22歳の時、丸三家具へ入社することになった。丸三家具では、それまでの丁稚奉公とは違って、社会保険付きで仕事も朝8時15分から夕方5時まで、「ここは

※1) 現在、宇和島市内唯一の老舗家具店

天国かと思いました」と振り返る。

丸三での家具製造は、数工程を約30人ほどで半流れ作業で一日10本ほどの家具を仕上げていて、造れば売れる時代。保長さんは、組みあがった家具に扉や引き出しを合わせていく工程を担当していた。

時間に余裕ができたことで、会社の慰安旅行でジルバを踊る先輩に刺激を受け、社交ダンスを始める。とにかく、とことん突き詰める性格でダンススタジオに3年通ってアシスタントになったが飽き足らず、プロンズ級の資格まで取った。そして、27歳の時、ダンスが縁で結婚をするが、坂本九で流行ったジエン力が主流になってやめた。

やがて、九州などの大量生産で安い家具におされ、自社製造は徐々に減少、工場で働いていた人達は、退職したり、一部は営業職へ配置転換されていた。

保長さんも営業職となったが、周りからは、「あんな、人前でしゃべれんやつが営業できるんか」という声が聞こえてきた。そんな時、詩吟の先生だったお客さんから詩吟を勧められる。たまたま、当時の店長が詩吟の経験があったことから、社内には詩吟クラブをつくらうという事になった。それまで、人を見れば逃げるようだった保長さんも詩吟を通じて、少しずつ人前で話せるようになって

※2) 当時、宇和島市内にも数十か所のダンスホールがあったほどブームになっていた

いったという。

詩吟も仕事同様、とことん打込んだ。南予大会四段の部では、初優勝し南予一にもなった。現在も現役で最上位の十段で師範の資格も持つ。

詩吟によって、人前で話せるようになっただけでなく、その繋がりでもたくさんの家具も買ってもらった。

13年続いた営業も55歳で引退し、その後は家具の修理や社屋の管理などをこなし、60歳でいったん定年退職したが、一年後に再就職し、現在も週に三、四日ほどのペースで仕事をしている。

保長さんには、長年果たせていない「後継者をつくる」という願いがある。多くの家具が、古くなったら棄てられていく現代、それらを修理して使い続けることは、今からの社会にとって大切な事だが、それを行える技術者がいない。

かつて、自分の腕一つで一本の家具を作り上げ、「悔いの残る仕事はしたくない」という保長さんに作業中、笑顔は全くない。今日も家具との真剣勝負が続く。

インタビュー・構成／川尻純滋



兵頭保長 昭和 17 (1942) 年 宇和島市生まれ 昭和 53 (1978) 年 公益社団法人 日本詩吟学院 宇和島岳風会入会 現在に至る
家具の丸三 宇和島市坂下津甲 407 ☎ 0895-24-0303 定休日：水曜日 🏠 <http://marusankagu.com/marusan/index.html>



A vibrant scene of Asagimadara butterflies in a field of pink flowers with a forested hill in the background. The butterflies, with their distinctive blue and black wings, are seen both resting on the flowers and flying against a bright blue sky with scattered white clouds. The foreground is filled with a dense field of pink flowers, while the background shows a lush green hillside under a clear sky.

海をわたる謎多き蝶 「アサギマダラ」

本号では、近年、宇和島市内でも見ることができるようになった、
日本で長距離を移動する謎多き蝶「アサギマダラ」について、
愛媛県における「アサギマダラ」研究の第一人者である、宇和島市の
久保政文さんのご協力を得て、その魅力についてご紹介する。

久保 政文

アサギマダラとは？

ようこそ、日本で長距離を移動する謎多き蝶「アサギマダラ」の世界へ

「アサギマダラ」の名前の由来は、大部分が透けて見えるほど薄い茶色い羽の一部にくっきりと区切られた浅葱色が入り、マダラチョウ亜科に分類されることから「アサギマダラ」という名前になったと言われています。

その浅葱色は、見る時間帯によって単に淡い藍色という言葉では言い表せない色を見せることがあります。特に朝日を浴びて飛んでいる時には、微妙に色に違いが見え、その飛び方と相まって、その美しさが際立ち感動します。また、薄い羽を通して蜜を吸う「フジバカマ」の花が透けてみえる時もあります。

南西諸島には同じ種類の蝶が見られますが、九州以北の各地で見られる渡りをする蝶は「アサギマダラ」だけです。古くから気温が低くなると平地に、夏などの気温が高い時は高地に生息すると言われていて、移動をするとは考えられていませんでした。

「謎の蝶 アサギマダラはなぜ海を渡るのか 栗田昌裕著」によると1960年初頭、沖縄でその生態の不思議さに気づいた研究者が論文で発表し、1980年代前半にマーキング調査が始まったと記されています。後ほど記載しますが、マーキング調査は現在も引き続き行われて

※葱（ネギ）の葉の色を薄めたような色からこう呼ばれる

いて、私もこの調査のことを知ったのは、7～8年前です。

沖縄には同種の移動しない蝶もいて、同じマダラチョウ亜科の「リュウキュウアサギマダラ」です。私が石垣島に旅行に行った時に、この蝶に偶然出会うことができました。マダラで区切られてはいますが、その色は茶色と白の二色でした。

また、「アサギマダラ」と同類で北米大陸において大移動するのが「オオカバマダラ」です。南下はカナダからメキシコに約4kmを移動します。私は、ドキュメンタリー番組で見たのですが、カナダは寒いので生育できる地を目指してほぼ一世代でメキシコを目指します。

メキシコでは、一年に一度その蝶に出会うので、先祖の霊が帰ってくるという信仰まであるようです。ところが、今度は夏になると涼しい場所を目指してカナダに向かいます。この時は三～四世代と命をつなぎながら北上すると言われています。



宇和島周辺の飛来状況について

「アサギマダラ」は、春は九州～南西諸島から移動を始め、宇和島にも飛来しています。ただこの時期に「アサギマダラ」が好む花がないのです。

秋の飛来は南下の時期にあたり、宇和島周辺の平地への飛来は10月入った頃で、この時期、見かけることが多くなるかと思えます。

9月中旬頃になると宇和島近郊の鬼ヶ城スーパール道の「猪のCOL」辺りに自生する「キオン」という黄色い花と「秋アサミ」に飛来する姿を見ることができ

最近、宇和島周辺の多

くの場所でも見られるようになり、昨年10月、それほど広くない私の園地でも、多い日には一日2～3百頭ほどが約一週間続けて飛来し、延べ3千頭を超える飛来を確認しました。

高光地区では数人の方が取り組んでいますので、公民館に問い合わせれば、園地を教えていただけると思います。また、高光小学校の園地でも見ることができ、同校では、「アサギマダラ」の観

察を一年通して行っております。

三間町でも多くの方が「フジバカマ」を栽培され、秋の飛来を待ち望んでおられ、三間町曾根地区、黒井地区、兼近地区などが愛媛新聞に取り上げられています。また、西予市でも「フジバカマ」を植えられている地区があり、宇和高校からの依頼で私の「フジバカマ」の苗を分けていますので今後、広がりを見せるかもしれません。

マーキング調査報告では、愛南町と津島町の境の風力発電がある小岩井道でも多くの飛来が見え、愛南町のCATVでも放送されるとのことです。

また、愛南町高茂岬には「アサギマダラ」が好む「ヒヨドリバナ（フジバカマと同種の花）」に多くの飛来が見え、ここは九州に渡るために風待ちをする場所というところでも知られています。更に南に行くと大月町から大堂海岸一帯で高知の方がマーキング調査をされていて多くの報告が上がっている場所です。

このように、愛媛県南西部は、南下する際の飛行するルートになっている可能性があり、マーキング調査によって飛行ルートが大まかにわかり始めています。しかし、毎年の気候変動によって飛行ルートは大きく変わる場合があります。

アサギマダラとの出会い



私が、アサギマダラと出会ったのは、私のミカン園を手伝っていたいたN氏の存在が大きく影響しています。

N氏は、とても動植物に造詣が深く、特に小動物・昆虫には詳しく、沢山教えてくれました。

ある秋の収穫期、二人で園地に行った時、N氏が一匹のヒラヒラと舞う蝶を見つけた。その特徴から「アサギマダラ」に違いないというので、ガラ携で、やっとの思いで写真に収めました。

この時期、ミカン園の回りに自生する秋アザミが、そこかしこに咲いていて、南下の途中にその匂いを嗅ぎつけてきたのでしよう。

N氏によると、随分前に上槇地区（宇和島市津島町）で秋アザミに、かなりの数が飛来しているのを見たことがあったそうなので、もしかしたら、今でも見られるのかもしれない。

2012年、みかんの収穫も本格的になり、作業中、N氏から「アサギマダラ」についてご自身の経験を交えて話を聞きました。そして、収穫も大詰めになった12月のある日、「アサギマダラ」の写真を印刷した一通の年賀状があったことを思い出したので、探してみると、何と、元高光小学校のY校長先生からの年賀状でした。さっそく翌日、「フジバカマ」を持っておられるかどうか電話を入れ、大き

※葱（ネギ）の葉の色を薄めたような色からこう呼ばれる

な株二株を分けていただきました。その年は、仮植えの状態で越年して、その冬はフジバカマの栽培法を勉強しました。

翌春、「株分け」という方法で、家横の畳一畳ほどの場所で栽培を始めました。株から数cmほど伸びた新芽を元株から切り離して、芽の部分だけを地上に出して白い地下茎は埋め込みました。

最初は水やりを欠かさず、伸び始めてからは自然に任せました。そして、その年の秋には1m程に成長した「フジバカマ」に花が咲き始めました。それまで花を見た事が無かったので、紫色に膨らんだ蕾を花だと勘違いしていました。

花が咲き始めるのは、極早生みかんの収穫時期と重なるため、天候の良い日は忙しく、「アサギマダラ」が来ているか確認できません。「フジバカマ」が開花してからからは、昼食前に「アサギマダラ」を確認する日々が続きました。

ある日、遠くから蝶らしきものが舞っているのを確認し、N氏と近くに寄ってみると、数頭（蝶の数は頭と数える）の「アサギマダラ」が大きく上空に舞い上がりました。「やった！来たぞ！」と二人で喜びました。

この年、その場所での飛来は合計10数頭でしたが、飛来したことで、大きな励みとなりました。

翌年は、違うみかん園地に少し広げて

文・写真

久保政文

栽培することにしました。更に次の年も同じ場所で栽培を続けましたが、「フジバカマ」が8月頃から枯れ始めました。どうにか枯れずに残った「フジバカマ」に一日に20頭近い「アサギマダラ」が飛来するようになりました。

最初に枯れ始めた時に、一本を引き抜くと根元に白いカビのようなものが生えていました。これはいけないと、みかんのカビ菌用防除剤を散布しましたが、大部分は枯れてしまいました。

そして、高光小学校の1校長先生にも見に来ていただき、その後、学校の空いた場所に「フジバカマ」を植えることになりました。

学校で取り組むには、「フジバカマ」を咲かせ続けなければなりません。私は、「フジバカマ」の枯死の原因について調査をはじめ、その原因が「白絹病」という菌によって引き起こされていることが分かりました。しかし、その対策法は容易には見つかりませんでした。

この頃から、飛来した蝶にマーキングをして追跡調査を開始しました。飛来した蝶は、数が少ないので捕虫網を使って捕獲して、マーキングがないかを調べるとともに、自らマーキングをして放蝶しました。このマーキングの情報は「アサギネット」というインターネットの掲示板で捕獲情報が見られることが分かっています。でも私がマーキングした蝶が再捕獲してこの情報に上ることはありませんでした。

これから、別の大きな難題と向き合わなくてはなくなりました。それは、「フジバカマ」に発生する「白絹病」との戦いです。そして、もう一つは、「アサギマダラ」を私に教えていただいたN氏を「アサギマダラの聖地」姫島に連れて行ってあげることです。

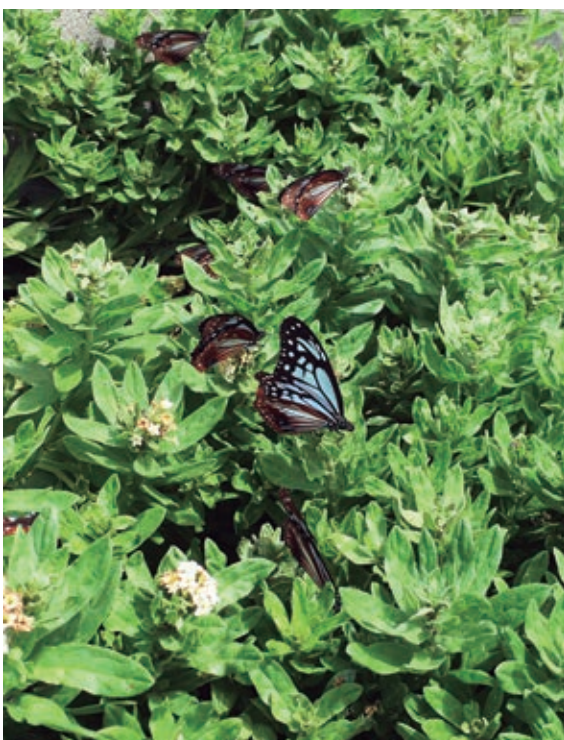
2018年5月下旬、私たちは姫島に行くことができました。既に「アサギマダラ」を観察して数年が経過していたので、どこで「アサギマダラ」を見ることができかを調べていました。

まず、佐賀県の「関崎海星館」を訪ねると、建物の近くで飛行している「アサギマダラ」を発見、更に「スナビキソウ」が植えてある場所で50頭を超える「アサギマダラ」を見ることができました。

それから、姫島に着くとすぐに、旅館に荷物を置き、自転車を利用して飛来地へ行くことにしました。

既に午後3時を回っていたので、急いでその場所まで行くと、まだかなりの数の「アサギマダラ」が「スナビキソウ」に飛来して吸蜜をしていました。

その後、小高い山の中にある秋の飛来地に行くと、500平方メートルほどの広さの敷地秋の「フジバカマ」



姫島のスナビキソウに群がる「アサギマダラ」

が植えられていました。

園地で作業していた人に「アサギマダラ」についていろいろ教えていただき、翌朝、「スナビキソウ」の所で会うことになり、「スナビキソウ」の栽培の難しさや「アサギマダラ」の天敵、生態についても話を伺うことができました。この人とは、未だに情報交換しています。

私は、ほかの野菜に発生する白絹病防除資料を探すため県職の友人に聞くと、愛媛県に病害虫の研究所があることが分かり、愛媛県農林水産病害虫研究所の方が吉田町のミカン研究所に常駐されているということで、藁をもすがる思いで訪問し資料をいただきました。

日々、時間を見つけては、その資料と参考文献を探し、対策を考えることにしました。

一方で、高光小学校での取り組みも始まり、早く白絹病の対策法を見つけたいと学校での取り組みも頓挫せざるを得なくなりました。そのような中、松山から病害虫研究所の方を小学校に招き、白絹病に効果のある農薬と白絹病についての話を聞くことができました。

ここから、試行錯誤の始まりです。小学校も文部科学省の環境教育指定校に認定されることになり、私は更に失敗を許されない状況に追い込まれることになってしまいました。

自分の所では、植える場所を少しずつ変え、面積を広げていきました。それから二年、白絹病との戦いが続いています。当然、初めて植える場所では問題なく2〜3年は育ちます。植える場所を移動すれば、「フジバカマ」と「アサギマダラ」を楽しむことはできます。

このように、「アサギマダラ」を観るためには、「フジバカマ」は無くてもならない存在の花ということが、お分かりいただけたでしょうか。

フジバカマについて



フジバカマから蜜を吸うアサギマダラ

「アサギマダラ」が産卵する時は、「キジョラン」を含むガイモ科の植物にしか産卵しないことが分かっています。

秋の南下の時に咲く花が「フジバカマ」で秋の七草としても知られ、「キジョラン」同様にPAを花に含んでいて「アサギマダラ」が好む温度帯にちょうど「フジバカマ」の開花の時期が重なるのです。

そして、もう一つ、このPAは「アサギマダラ」にとって重要な役割を果たしています。この花に飛来する「アサギマダラ」のほとんどがオスで、PAを体内に取り込むことによって、自分を外敵から守るとともに、PAを使ってフェロモンを作り出しているのです。フェロモンは、メスと交尾をするために重要な役割を果たすとともに仲間との情報伝達をする物質ではないかといわれています。

では、メスは「フジバカマ」に飛来しないかと言うと当然PAを含んでいますので飛来します。でも、PAを含まない花の蜜でもエネルギー補給はできますので、

そこで吸蜜もします。ただ、この「フジバカマ」を育てるのがとても大変で、ほぼ2〜3年を経過すると白絹病が発生します。一度この菌によって枯れると、菌は、どんどん、その勢力を広げていき全滅します。この菌は、地中で菌核（菌の卵）を作り越冬し、翌年、菌にとって生育できる環境が整うと白絹病を発症して、「フジバカマ」を枯らしてしまいます。白絹病が発生した場所では「フジバカマ」は生育できなくなっていく、場所を変えるほかありません。

しかし、何故「フジバカマ」だけが白絹病に汚染されるのか？ 私もまだその



フジバカマの根に発生した白絹病

答を知りません。おそらく「フジバカマ」に白絹病を誘引し増殖させる物質が出ているのではないかと想像しています。

2年間の試行錯誤の結果、同じ場所では枯らさずに育てる方法を見つけたことができました。様々なテスト区分を設けて「フジバカマ」を育成し、その実証を行いました。この方法で他県と三間町では再生ができています。自然との闘いですので、根気よく、異常を見つけては取り除いていかなければいけません。これからも試行錯誤して育てることになると思います。



久保さんが丹精込めて育てたフジバカマ

高光小学校での取り組み

―校長先生から、学校で取り組むと連絡をいただいた時は大変うれしく思いました。5年生の総合学習授業では、私に実際に授業を行い、「フジバカマ」についての知識を深めるとともに、実際に植え付けして、その後の世話は生徒たちが行うことになりました。

また、2015年から2年間、宇和島東高校で「アサギマダラ」の調査研究をされていたW先生に来ていただき、マーキングの方法や記録の取り方などの授業をして頂きました。授業には私も出席し、「アサギマダラ」の詳細や調査の必要性、環境の大切さなどを教えていただきました。まだ、学校に飛来していない時でしたので、私の園地に飛来した「アサギマダラ」を捕獲し、マーキング

体験をすることで学習の深度を高めることができました。

「アサギマダラ」と触れ合い観察することは、自然や環境、そして何より命の大切さを学習でき、マーキングで、その学術研究の一翼を担えるという素晴らしい取組だと思えます。そして、育まれた気持ちに絶やさないためにも、「フジバカマ」の継続生育はとても大切な事なのです。

授業を始めて3年、「キジヨ



W先生による授業風景

ラン」を植えたことで、学校でも「アサギマダラ」の一年を経過観察できるようになり、2020年秋には、「キジヨラン」に卵を産み付けていることが判明し、生徒たちは、その成長過程をつぶさに観察・記録することができました。

翌年4月には学校で蝶が羽化しましたが、残念ながらその瞬間を見ることも記録することもできませんでした。

その後、W先生の転勤で来校してもらったの授業は困難になりましたが、この間、私も視察や論文などを読んで見識を深めることができていましたので、W先生に代わり「アサギマダラ」の授業をすることになりました。

コロナ禍で思うようにできていませんが、春は「フジバカマ」を秋には飛来前に「アサギマダラ」の授業をしています。昨年は、私の園に学校から出向いてもらい100頭以上の「アサギマダラ」が乱舞する様子を観察してもらうことができました。

マーキングについて

ここで「マーキング」について触れておきます。

「アサギマダラ」が長距離を移動しているのではないかという疑問から、1980年代に始まった「マーキング調査」による研究がなされています。これは、「アサギマダラ」の特徴の一つである鱗粉が少ないために行える調査です。

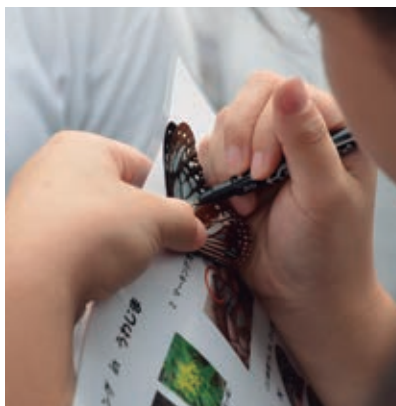
透き通るような薄い羽根の一部に日付、マーキングした場所、マーキングした人（記号）、何頭マーキングしたかが分かるように油性マジックで印をして蝶を放します（放蝶）。その後、マーキングした蝶が別の場所で見つかる（再捕獲）と、どこ誰が、いつ、印をつけて放蝶したかが分かります。

そして、この調査の取りまとめを行っている団体があるので、そこに報告することによって、移動距離や移動ルートが分かります。更に、その蝶にマーキングをして放蝶し、再び捕獲（再々捕獲）されると、より詳細な移動が分かります。こうして、日本全国で行うことによって、その移動実態が大まかにわかり始めているのです。

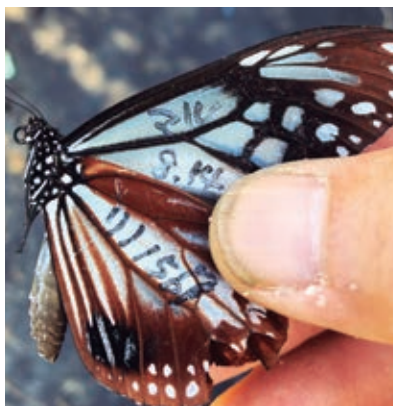
宇和島の特に私が関係している場所では捕獲した「アサギマダラ」は、福島県デコスキー場、長野県大町、白山、京都市三重県、高知県（香美市、大月町、小岩井道）西予市、中山町などから飛来して

いますし、高光公民館長のお宅でマーキングした蝶が屋久島で再捕獲されています。

「アサギマダラ」の飛行ルートは、まだまだ解明されていないことも多く、未だに飛行先が明確になっていないことも謎です。



マーキングをする様子



実際のマーキング

今後の取り組みや夢

「アサギマダラ」の飛来はここ数年、飛躍的に増加しています。昨年は「フジバカマ」が咲く約一ヶ月で飛来数が3千頭を超えました。また、「フジバカマ」の栽培に関しても一定の成果が出ており、毎年同じ場所での栽培育成は現状では上手くいっています。

「アサギマダラ」も自然と共生していますので毎年何頭飛来するか分かりませんが、私の園では花の時期と飛来時期とが上手く合い、「アサギマダラ」の好む温度になる10月には、その優雅な飛行を皆さんに楽しんでもいただけたと思います。

「アサギマダラ」は、鳥のように非常にうまく上昇気流をつかむことで、山を越え、海を渡るような飛行ができます。

四国は周りを海に囲まれていますので、飛行する際は、高く舞い上がって海を越えなければいけません。そのため気象条件を巧みに利用し、半島の先などで「風待ち」をするのだと思います。私の園でもマーキングをして気づいたのですが、翌日までいるのは、ほぼ1割程度です。

私の園のそばに大きな樅木もみのきがあり、早朝、その木から湧いて出てくるような光景を見ました。きつと、かなりの頭数が一夜を過ごしているものと思います。そして、その一部が私の「フジバカマ園」に戻り、ほとんどは、そこから旅立っていくと思います。夕方から朝方にかけて

樅木に休んでいる100頭以上の「アサギマダラ」がどのように枝にぶら下がっているか、その様子を見てみたいと思っています。

今は、春の飛来についても取り組んでいます。宗像市の知人から送ってもらった「スイゼンジナ（PAを含む）」の栽培を始めています。今年は少し花が遅れましたが、もっと多く飛来するように「スイゼンジナ」を育てたいと思います。

この「スイゼンジナ」は、特に寒さに弱く越冬させることが難しい植物です。春の「アサギマダラ」の北上の期間は、秋より短いのではと想像していて、春、北上の良い時期に「スイゼンジナ」の花を咲かせて沢山の「アサギマダラ」に会いたいと思っています。

「キジヨラン」も順調に育っていますので、皆さんにその成長過程をお見せできればと考えています。ただ、この「キジヨラン」もその生育場所を限定されます。

また、生育させてみて、その不思議さに気づかされたこともあります。卵から孵化して幼虫になり、小さな幼虫は葉を丸く食べます。最初は丸く薄く食べ、最後には丸く食べていきます。しかし、何故、葉の裏で落下しないで丸く葉を食べることができるのか？ また、サナギになる時は、必ず太い葉脈の所に蛹を作り

ます。サナギを作るだけなら葉の裏のどこでも良いと思うのですが・・・。

こうして、「アサギマダラ」の観察を通して多くの疑問が生まれます。

○どうして、あの小さな体で数千kmも飛行するエネルギーと骨格を維持できているのか？

○どこに「フジバカマ」の香りを嗅ぎつける嗅覚を持っているのか？

○どの位の頭数が日本の上空を飛行しているのか？

○世代が変わっているのに同じような場所を飛行できるのは何故か？

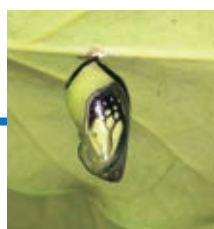
○全ての「アサギマダラ」が南西諸島まで南下しているのか？

○羽化して自分で飛べるようになるまで半日ほどかかるようですが、この間の食事は？

○「キジヨラン」を食べるのか？

○などなど、まだまだ、謎だらけの「アサギマダラ」です。

■アサギマダラの成長課程



久保 政文 (文/写真)

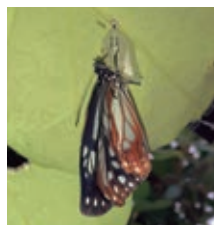
プロフィール

1955 年宇和島市生まれ 高光小学校～城北中学校卒業

宇和島南高等学校～香川大学農学部食品学科卒業

1978 年宇和島缶詰株式会社に入社

1995 年退職後ミカン農家になり、現在に至る



野村秋祭り

(西予市) の むら あき まつ



西日本豪雨から1年3ヶ月後に復活した野村秋祭り

写真提供／大本敬久

祭りは「先祖」から世代を越えて今に伝えられた文化であり、住民が主体的に参加し、交流を深める場となっている。いわば住民を束ねる「箍」^{たが}のようなものであり、祭りが無くなると「箍」が外れて地域は地域でなくなってしまう。祭りは地域を守り、活かす原点の場ともいえる。

愛媛の祭り文化は東中南予で著しく異なる。東予では太鼓台など豪華絢爛な屋台が登場し、中予では神輿の鉢合わせが見どころで、南予では牛鬼や鹿踊りなどの練り物が登場する。西予市野村町野村の秋祭りでは、各地区から牛鬼、四ツ太鼓、五ツ鹿踊り、獅子舞、お多福、猿田彦、浦安の舞が登場し、神輿渡御を彩る独自性がある。南予では「当たり前」と思いがちだが、このような「お練り」の多様さは全国的に見ても顕著な地域性を持ち、広く情報発信できる文化資源でもある。

平成30年7月豪雨では、野村の氏神・三嶋神社が3.7メートル浸水し、拝殿は大規模に損壊した。社務所は流され、保管していた猿田彦等の用具も流失した。被災3ヶ月後の10月第二日曜日の祭りは「復興祈願祭」として行われたが、神輿が社殿を周るのみで、神輿渡御や牛鬼、鹿踊等の「お練り」は中止となった。その後、町内外か

らの寄付や助成を活用するなどして、祭り再興に向けての取り組みが進められ、令和元年10月13日、快晴のもと、2年ぶりの神輿渡御、「お練り」が盛大に行われた。

野村秋祭りの歴史は、祭礼用具に江戸時代後期に製作されたものが確認できることから、約200年前には現在と同様に行われていたと推定できる。復活した秋祭りを拝見して、数世紀の長きに渡って変わらず継承されてきたことに驚かされ、地域で培われてきた伝統の力を実感させられた。

災害に見舞われるまでの暮らしは地域ごとに多様であるように、被災から立ち上がる過程も一律ではなく、地域それぞれで異なってくる。復興の中で、足もとの独自の文化を見つめ直すことは地域の特徴（いわば「顔」「表情」）を再確認する作業であり、それは復興や未来への原動力にも繋がっていく。

伝統の祭りによって、地域が一つになる意味は大きい。祭りの担い手の多くが被災するなど厳しい現実の中で、地域全体で前を向いて一歩を踏み出した。復興はまだまだ途上だが、野村には祭り、乙亥大相撲など地域内を結集させる伝統文化が確実に息づいている。これが野村の町・人の力強さの源なのだ。

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

おおもとかひさ
大本敬久



1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論著書に『民俗の知恵』（創風社出版）等

この世界は一粒の粃からはじまった

映像作家 松浦 靖



令和2年11月観世能楽堂での上演 [写真：新井勇祐]

1970（昭和45）年に大阪で開催された日本万国博覧会（通称…大阪万博）には全国各地から多くの人々が訪れ、当時、小学生だった松浦靖も父に連れられ、世紀の一大イベントを目の当たりにした。

多く最先端技術を駆使したパビリオン中で彼のハートを鷲掴みにしたのが、大きなドーム型の建物の天井に映し出された疾走する機関車の映像だった。その、あまりの迫力に思わず悲鳴をあげてしまいそうになるほどの映像は、一瞬にして彼を映像の虜にした。

その後は、菊みどり劇場での映画観劇に没頭し、高校生になると、「自分で映画をつくりたい」と思うようになっていった。

明治大学へ進学すると、さっそく映像関係のサークルに参加し、心は常に映像にあった。大学卒業後は一年半ほどサラリーマンをするが、やはり大好きな映像関係の仕事に就こうと日活に就職していたサークルの先輩に相談すると、「とにかく飯が食えんから、自分に合ったやり方を見つけた方がいい」とアドバイスを受ける。映像と言えばハリウッド。それならば、とにかく向こうへ行つて、一旗揚げればいい、行けば、どうにかなるだろうと、1988（昭和63）年、単身ロサンゼルスへ渡った。

渡米後、まず語学学校へ通い、その後、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）の夜間の映画コースへ編入した。

当時、日本のCMのアメリカロケがブームになっていて、日本のCMをコーディネイト、プ



(写真：上・中) 令和2年11月観世能楽堂での上演

(写真：下) 令和4年9月サントリーホールでの上演 [写真：新井勇祐]

ロデュースする制作会社を紹介され、初めてコマーシャルの世界に足を踏み入れることになる。仕事をこなしながら、制作したミュージックビデオ「Touching」がベストビデオ賞を受章する。これを足がかりに、繋がりのある関係者に映像作品をプレゼンしながらCM演出の仕事に依頼されるようになっていき、1999（平成11）年、トヨタ自動車、キャミーのダンシングベイビーを使ったCMが大ヒットし、注目される存在になる。

こうして、憧れのハリウッドで最先端の技術を学び、大好きな映像制作をし、それなりに評価されている中で、自身のオリジナルティや原点とは何か？ を考えるようになっていった。

そんな中、41歳の時に死を意識するような大病を患う。療養中、薦められて読んだ「神道の心（著：葉室頼昭）」という本に心奪われた。

そこには、探し求めるもののヒントとも言える日本人の心が記され、本文に頻繁に登場する「感謝」という言葉は、闘病中ということもあって、「食と命」の意味を深く考えるきっかけになっていた。

その後、苦しいリハビリを乗り越え、復帰に向けて、あいさつ回りにいた時、東北の曹洞宗から「子どもたちが『いただきます』という言葉の意味を理解して家庭の中で楽しく観れるビデオをつくってほしい」と依頼を受け、その制作過程で『いただきます』に込められた意味を教えられることになる。

また、知人から再出発にふさわしいからと、すすめられた、芸能の神さまを祀る奈良の天河神社を参拝した時、社殿の正面にある能舞台で聴いた大鼓の音に衝撃を受け、映像クリエーターとして、いずれこの音を再現したいと思った。

そして、『いただきます』ビデオが完成した直後、東日本大震災が起こる。妻の実家が福島原発近くの双葉町にあり、震災直後、そこで暮らす両親は亡くなってしまったと、半ばあきらめていたが、奇跡的に助かった。

それまで、対岸の火事という感覚でいたものが、身内が被災したことで「そこに何か教えがあつて、自分たちの足元を見つめなおすキッカケをもらっている」と感じた時に、「いただきます」だと思った。食べることは「生きる基本」であり、このことを次の世代に伝えなければ、と思った。

完成した『いただきます』ビデオは、大震災の混乱の中、ほぼお蔵入りの状態だったこともあつて、このビデオを無償で東京の子どもたちに見てもらおうと行政へ持ち込むが「価値観を押し付けるものだ」として不許可となる。

この結果に驚いてNPO法人を立ち上げ、上映会や食のイベントを開催する活動を展開していった。

震災を経て『いただきます』の活動をしている中で、日本最古の歴史書とされる「古事記」にたどり着いた。その神代における天地の始まりにある、「天と地が二つに分かれた時に初めてこの世に姿を現したのは男でも女でもない一人神の天之御中主神（あめのみなかぬし）だった」という最初の一文を読んだ時、自身の中で天河神社で聴いた大鼓の音と天之御中主神が符合し、すーっと、腑に落ちるのを感じ、同時に映像ではなく舞台で表現したいと思った。

得意の映像ならまだしも、リアルな舞台となると、全てが手探りだった。それでも、すばらしい縁が更に新たな縁を結び、最初は手弁当で

公民館での上演だったのが、2017年のロサンゼルスで高い評価を得る。

「色々な縁と機会が上手く重なり、積みあがっているという感じです。テレビCMの仕事であれば、そのプロジェクトに沿った予算が決まっている中で作業を進めていきますが、『一粒萬倍』のように手弁当で始まったようなプロジェクトが大きくなって行くためには、関わっている人々の気持ち、ひとつになつていかなければ、今回、えひめ南予きずな博のイベントの一つとして、宇和島市の吉田中学校での上演が決まっている。

そして、多くの人に関わっていただき、ふるさと宇和島で上演される「一粒萬倍」のステージが一日だけでは、あまりにもつたいないと、各方面を駆けずり回り、南予文化会館での自主開催にこぎつけた。この上演では、「子供たちに本物を体験してもらう」をテーマに、650名の中学生を招待して上演する。

そして、多くの人に関わっていただき、ふるさと宇和島で上演される「一粒萬倍」のステージが一日だけでは、あまりにもつたいないと、各方面を駆けずり回り、南予文化会館での自主開催にこぎつけた。この上演では、「子供たちに本物を体験してもらう」をテーマに、650名の中学生を招待して上演する。



松浦 靖（まつうらやすし）1963（昭和38）年 宇和島市生れ

宇和島南高等学校卒業。明治大学商学部卒業。1988年渡米。UCLA映画科・Extensionコースにて、ディレクション&アクティングを専攻。卒業制作「Harmonic Progression」（20分）を監督。卒業後、映画、ミュージックビデオ、TVコマーシャルの制作業務、Avidエディターを経て、初のミュージックビデオ監督作品「Torchlight」がベストビデオ賞を受賞。これを機にディレクターとしての活動を始める。1999年、ダンシング・ベイビーを起用したトヨタ・キャミのシリーズは日本にダンシング・ベイビー旋風を巻き起こし同時に、トヨタ初の視聴者好感度No.1スポットに選出される。TVコマーシャルではトヨタ、ダンロップ、イワタヤ、日本コカコーラなどの作品でIBA、テリー賞を受賞。20年以上の海外生活と世界各国での制作経験をいかしたグローバルな視点での企画・演出が得意。現在、フリーランスディレクターとして映像制作をする一方、一般社団法人一粒萬倍制作委員会の代表理事として日本の伝統と文化の魅力を国内外に向けて発信中。



南予文化会館・大ホール

〒798-0040 宇和島市中央町2丁目5-1 tel: 0895-24-6800

2022年10月17日（月）開場:13時 開演:14時（16時終了予定）

■チケット料金（全席指定・税込） S S 7,000円 S 5,000円 A 3,000円

■お問合せ Tel: 070-2218-4357 事務局・内村（月～土 10:00～18:00）

Fax: 055-921-7647 Mail: office@ichiryumanbai.com

主催：一般社団法人一粒萬倍制作委員会 共催：宇和島市教育委員会 後援：宇和島商工会議所
協力：内田くみこバレエスクール 宇和島バレエ研究所 Mile Ange Danse Compagnie
裏町一丁目八ツ鹿保存会 猿田彦ねり保存会

カレンダー公募展



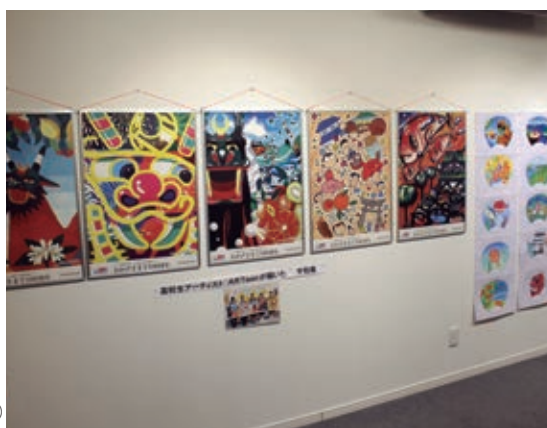
①



②



④



③

- ①表彰式後の集合写真。左から「信金賞」の三好啓司さん、一般社団法人キャンパスの清家由佳代表、「ばれっと賞」の内原克幸さん、清家義幸理事長、「優秀賞」の池田多津子さん、「優秀賞」と「キャンパス賞」のダブル受賞となった西鼻育子さん。
 ②カレンダーに採用された三好啓司さんの「天赦園」（油絵）
 ③会場内に展示された、当庫の100周年記念ポスターと団扇
 ④真剣な表情で作品を観る来場者



例年、ご好評をいただいている一枚物のカレンダーの図案を当庫の創立一〇〇周年記念事業の一環として公募展を開催し、応募作品の中から、令和5年のカレンダーに採用した。

公募展は、皆様に披露場を提供できたことはもとより、当庫の基本理念「愛郷心と人生美の創生」に通ずる社会貢献活動だ。

公募展のテーマは「宇和島」とし、一般社団法人キャンパスの協力を得て企画し、去る7月26日から31日の間、市内のアトリエぱれっとで開催された。

展覧会には宇和島の様々な場所を描いた秀作がきれいに額装され展示された。また、会場では来場者に気に入った作品3点を選んで投票してもらい、最多得票作品を「キャンパス賞」、カレンダーに採用する作品は「信金賞」とし、庫内でアンケートを取るなどして決定した（次点作品2点に「優秀賞」）。そして、キャンパスの清家代表に選んで頂いた作品を「ばれっと賞」として、副賞贈呈し、それぞれ表彰した。

10.1[土] ▶ 12.11[日]

【開館時間】

9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休 館 日】

月曜日 (但し10月10日は開館)
10月11日(火) 11月4日(金)
11月24日(木)

久万美
メッセ

情 抒 う 漂 跡 軌 の 憶 記

森 本 秀 樹 ・ 猛 二 人 展

2022 10.1[土] ▶ 12.11[日]

【開館時間】 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休 館 日】 月曜日(但し10月10日は開館) 10月11日(火) 11月4日(金) 11月24日(木)

KMA

Kuma Museum of Art

町立 久万美術館

【観 覧 料】 一般 500 (400) 円、高大生 400 (320) 円、小中生 300 (240) 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金

※ 高齢者 (65 歳以上) ・ 身障者 ・ 療育割引の方は証書 ・ 手帳等の提示で半額

【主 催】 町立久万美術館 ・ 久万高原町

【後 援】 愛媛新聞社 ・ 愛媛 CATV ・ 南海放送 ・ テレビ愛媛・あいテレビ ・
愛媛朝日テレビ ・ FM 愛媛 ・ 宇和島ケーブルテレビ ・ 愛媛県 ・
愛媛県教育委員会 ・ 松山市 ・ 松山市教育委員会 ・ 宇和島市 ・
宇和島市教育委員会 ・ 久万高原町教育委員会

■ 注意事項

※ 本展覧会開催中は、井部コレクション等の収蔵作品の展示はございません。

※ 展覧会の会期および関連事業は、新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策のためご来館の際はマスクの着用、消毒検温のご協力をお願いいたします。またお名前 ・ ご住所 ・ ご連絡先を控えさせていただきます。

KMA

Kuma Museum of Art

町立 久万美術館

〒791-1205

愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生 2 番地 1442-7

電話 : 0892-21-2881 / FAX : 0892-21-1954

<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>



■ JRバス 松山から 70 分 (ほぼ 2 時間毎、土・日曜・祝運休あり)
予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約 10 分

■ [車] 松山市内から国道 33 号線で約 50 分、高知市内から約 2 時間
松山自動車道松山 IC から国道 33 号線を高知方面へ約 30 分、久万
中学校前交差点を左折、県道 12 号 (西条久万線) を 0.8 km 東進、右側
駐車場 45 台 (無料)

私の描く風景は、幼少期に父と過ごした宇和島の記憶の奥の情景です。その記憶は長い刻を経て、余計な物が排除され、色や形まで程好くボンヤリとしてきて、僅かな詩情だけが漂っています。

私は昔から西洋画より日本の絵に興味があり、造形的に弱く思われがちな抒情的空間や引算的思考に寧ろ魅かれました。抽象と具象の循環を経て、描き過ぎない描写に拘りながら、粗野な筆跡や簡素な線を生かした俯瞰的画面に普遍の情景を探して来ました。

これからも詩情の赴くままに、記憶の奥の情最を熟視しながら表現を深め、日本人の油彩画の系譜に連なる作家の一人として、次の時代に繋げていきたいと思っています。

森本秀樹

1951 愛媛県宇和島出身

1971 武蔵野美術短大油絵専攻卒業

1977 千葉県展受賞（77～85年出品）

1990 上野の森美術館大賞展出品（92年賞候補、93年佳作賞）

1991 昭和会展出品（92年出品）

1999 日本国際現代美術展（NICAF）出品（01年出品）

2003 森本秀樹画集「宇和島」刊行

2006 コレクターによる森本秀樹展 ― 宇和島 ―（東京 Gallery KANI）

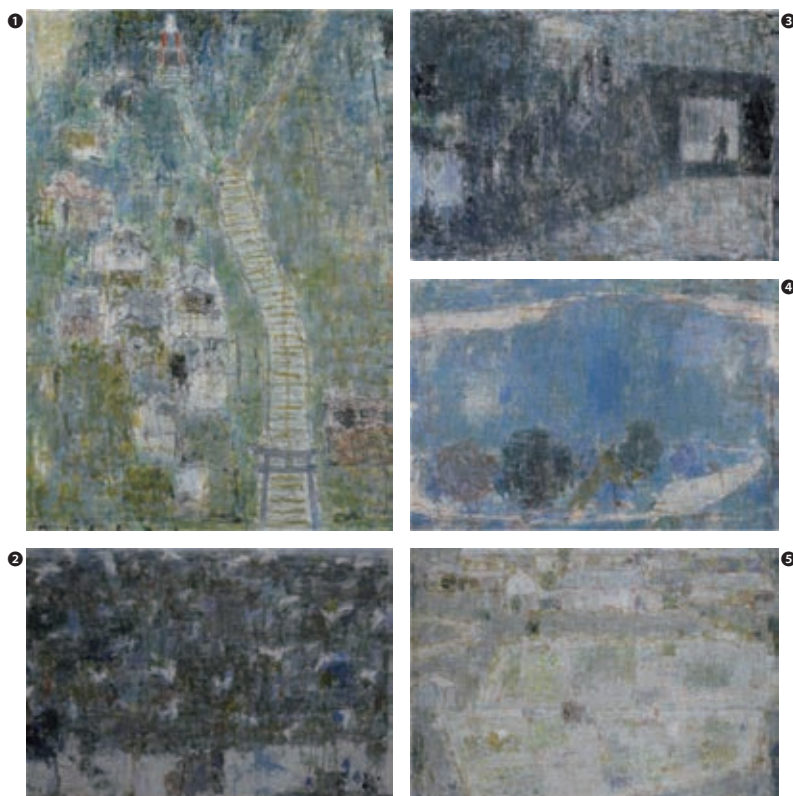
森本秀樹展 ― 記憶の UWAJIMA ―（宇和島生涯学習センター）

2007 森本秀樹展 父の見ていた風景 ― 宇和島 ―（長野 梅野記念館絵画館）

森本秀樹展（愛媛、畦地梅太郎記念美術館）

2014 斎藤実コレクションー 森本秀樹展 ―（東京、Gallery ゴトウ）森本秀樹展（神奈川、museumfrom winds）

2016 森本秀樹展（松山ミウラート・ヴィレッジ）現在 無所属、2010年よりアトリエを宇和島に移す



森本秀樹

①『赤染様への階段』2022年 ②『汽水域に集まる鳥』2018年

③『ガード下回想』2020年 ④『八月の海』2019年 ⑤『集落』2016年



森本猛

①『季の想い』2022年 ②『周りの気配』2020年 ③『周りの気配』2021年

④『周りの気配』2020年 ⑤『周りの気配』2021年

子供のころに感じた思いはいつまでも忘れないものだ。遊びながら季節や身の周りの空気を身体中で感じ取っていた。私の絵の原点はここにあるのではないか。何を描きたいのかわからず悩みながらも描き続けてきたが、ようやく自分の作品に答えらしきものが見えてきたような気がしている。

私の中の私に向き合うこと・・・。

今回の展覧会では、この4～5年の作品を発表する。以前には見られなかった画面に表れる四角い形は、周りの気配を気にするようになった自分自身だろうか。漂う空気に何とも言えないやるせなさを感じている。教職を退いた直後の熊本地震や、その後に続くコロナ禍を受け止めることしかできない現実初めて死を意識するようになった。いつ死んでもおかしくはない。日々、変わりなく過ぎていく時間が私に残された時季を刻んでいる。いつまでも時季を刻むことができるようにゼンマイを巻きながら、ひたむきに絵を描いていく。

森本猛

1956 愛媛県宇和島市生れ

1980 武蔵野美術大学油絵学科卒業

1980 松山に移り住む

1991 熊本に移り住む

現在 無所属、熊本で制作活動を展開

「森本猛 - 季の想い -」展 2022（宇和島、畦地梅太郎記念美術館）

「楽しむ空間 書に遊び 絵に想う」展 2019（熊本、宇城市不知火美術館）

Up and Coming 展 オーガフミヒロ 坂本龍彦、森本猛」2018-19（松山ミウラート・ヴィレッジ）

「森本秀樹、森本猛」二人展 1990, 97, 00, 04（東京、熊本、松山）

公募展

「四万十川絵画展 1992（高知）」「第1回北の大地展 1996（北海道）」

「別府現代美術展 1996（別府）」「青木繁記念大賞展 1997, 98, 01（久留米）」

「アート大賞展 1993～01（熊本）」「ビエンナーレ KUMAMOTO 展 2002～10（熊本）」

「別府・アジアビエンナーレ展 2007」「第16回英展 2007（田川市）」他



文ちゃんとどつぽの 予土線のあの人に会いたい

2

株式会社山間屋 会長

なか わき ゆ み

中脇裕美さん



停車駅は「江川崎」

文／山下文子 写真／坪内政美



モンブランもスムージーも、もちろん地元の食材



ストローベイル sankanya の外観

実はこれが「ストローベイル」という店の名前の由来となっている。小屋では、いまの道の駅の店と同じように四季折々

くるような、可愛らしい小屋がある。藁を積み上げ、その表面を漆喰で覆う『ストローベイルハウス』。職人養成講座の一環として建てられたものだという。

私が、このケーキに惚れ込んだのは、かれこれ10年ほど前のことだ。ちょうど道の駅の道路を隔てた場所に、白壁で赤い屋根のおとぎ話に出て

くるような、可愛らしい小屋がある。藁を積み上げ、その表面を漆喰で覆う『ストローベイルハウス』。職人養成講座の一環として建てられたものだという。

「ここに汽車が走りよる。それだけで、うれしいがよ」と、うきうきした口調で話すのは、高知県四万十市在住の中脇裕美さん（67歳）。生まれも育ちも四万十市の中脇さんは、地元の産品を加工販売する会社の創業者だ。予土線が走る故郷をこよなく愛する中脇さんに話を聞いた。

の食材を使ったケーキや焼き菓子などを販売していた。いつも私は、仕事の途中、一息つきたいと思った時、ここへ来てケーキを食べていた。四万十川の流れる音を聞きながら、甘いケーキに癒やされていたのだ。その小屋は、今もそのまま残っている。

「あの建物がかわいらしくうてね。どうにか残して活用できんやろかと考えたんよ。その頃、私は役場（旧西土佐村）の職員やったんやけど、あの場所が地域自慢の特産品なんか売ってみたら、いいんじゃないかな」と中脇さん。

当時、役場職員として受けた特命は地域の特産品開発だった。地域のモノに光を当てたい、地域を元気にしたいという熱い思いは高まるばかり。そして、一念発起した中脇さんは、51歳で早期退職し、「四万十の山間屋（やまどんや）山間屋（さんかんや）」を創業したのだ。ストロベリーハウスは、その拠点となり、カフェとして地域に根付いた。

「最初はね、『いちごようかん』と『山間米』。ロングセラーよ。農家さんは作るだけで大変やけん、販売まで手が回らんですよ。農家さん

は作る人。私は売る人。特に収穫したての美味しいお米を食べてもらおうと真空包装にしちよる。手間をかけて作ったお米やけん、食べてもらう人にも最高



いちごようかん（大）650円



道の駅内のジオラマを眺める中脇さんと文ちゃん

の状態でも食べてもらいたいじゃない。脱酸素剤も今では当たり前やけど、鮮度を保つための方法として、当時はセンサー

シヨナルやったがで「四万十川中流域の清らかな水で育った山間米は、米としてだけではなく日本酒にもなっていて、甘みもあり、きりっと喉越しのいい純米吟醸酒だ。一方のいちごようかんは、加工品第一号として今も人気商品で、ピンクの包み紙に優しい甘さが詰まっている。

予土線との関係も深い。中脇さんは、豊かな自然から生まれる地域の特産品を予土線でやってくる乗客にも知ってもらいたいと、江川崎駅から土佐大正駅までトロッコ列車での車内販売をしているのだ。トロッコが走り出すと、車窓には四万十川が広がる。この時ばかりは、中脇さんも商品の販売より景色の説明に熱が入ってしまうと言う。

「ここ見て見て」って言うてね。半家の沈下橋も十和の棚田も、四万十川の蛇行だって列車に乗らんと見えんがやけん。車で来たって見られんが、線路は高い場所にあるから目線が全然違う。これは絶対乗ってもらわんと見えん!!」

県境にある西土佐地域の文化圏は宇和島だと話す中脇さん。自身も運転免許を取りに宇和島まで予土線を通ったという。「病院も買い物もみな予土線に乗って宇和島に行くがよ。出産も宇和島の市立病院。夏の牛鬼まつりも予土線に乗って行く。西土佐も祭りの時期に沈下橋を牛鬼が渡るがで。年末になるとね、正月のかまぼこを買いに商店街まで行くが。もう生活圈よ、やっぱり文化も似ちよる」

生活の中にある予土線。しかし、赤字路線と言われて久しく、過疎地域を走る現実はあるようもない。

「40年ほど前から『乗って残そう予土線』というキャッチフレーズがあったけん、役場時代はよう高知まで予土線を使って出張に行ったりしよった。乗り換えに窪川で1時間くらい待ったりしたけど、なんかそれもいい時間よね。行政が率先して使わにゃいけん。観光客にも乗ってもらいたいけど、やっぱり地元の人にも乗ってもらいたい。地元の魅力を再発見できるき。乗ったら地元愛も芽生えると思うがよ」

列車に乗ると、列車が目的地まで連れて行ってくれる。その間は、景色を眺めながら心が空っぽになるという中脇さん。いい意味で余計なことを考えなくなるのが鉄道旅の醍醐味だという。その車窓に広がるのが、四万十の大自然ならば尚のこと、空っぽになった心に新しい風が吹き込んでくるようだ。

「私には、まだ夢があるんよ。いつかね、この地域で採れたモノを使った『地食食

堂』をやりたい。アユだけやのうて、海のカツオも山と川と深いつながりがあるじやろ。自然は巡り巡って私らに豊かな食を恵んでくれちよる、それを地元で味わってもらえる場所を作りたい」

坪内 政美 つぽうち まさみ
スーツ姿で撮影するということも奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネーター。各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぽ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている。高知県予土線利用促進対策協議会アドバイザー。



山下 文子 やました あやこ
宇和島市出身、鬼北町育ち。予土線沿線は、県をまたぐも「ザ・生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き。座右の銘は「その角を曲がれば、旅」（※永六輔氏のうけうり）。「四万十の鉄道 予土線」のホームページでコラムを担当。



協力：高知県予土線利用促進対策協議会 <http://yodosen-green.com/>

<https://twitter.com/yodosen> <https://www.facebook.com/yodosen/>

アルミサッシ・バルコニー
木製建具・フスマ・ガラス

代表取締役 山口 慶一郎

「今での当たり前はこれからの非常識」



宇和島市坂下津にありま
す有限会社山口建具3代目
山口慶一郎です。弊社は、昭
和46年に祖父が創業し、父を
経て私が引き継ぎ、今年で創業
51年目を迎えました。主な仕事は
鋼製建具や木製建具工事、カーポー
ト、ウッドデッキ、テラス、フェン
スなどのエクステリアなどの商品を
工務店様、建設会社様、建設業者様、
個人のお客様への施工付きでの販売
を致しております。それ以外にも、
網戸の交換やガラス修理、建具に関
わる困りごとの解決やメンテナンス
なども行っております。

とが無く、「自分がしたいことをし
たらいい」と言われてきました。し
かし、専門学校を卒業間近までやり
たいことが無く、その頃に父と進路
の事を話す機会がありました。今ま
での会社の事、祖父の事、それに伴
う父の苦勞を初めて聞き、父の代で
終わらせるわけにはいかないと覚悟
を決め、この業界に足を踏み入れま
した。

私自身の業務内容は、お客様から
ご依頼を受け、現場で打ち合わせを
し、提案、見積を提示した後に材料
の発注をいたします。施工時には従
業員への取付指示を行います。施工
完了まで、悩むことは沢山あります
が、完了時にお客様から「ありがと
う」「綺麗になった」「使い易くなっ
た」「またお願い」などと笑顔で言っ
て頂いた時に、この仕事をして良か
ったと感じさせて
もらいます。

今後少子化に伴
い、宇和島の人口
が減って行くこと
や若い人が宇和島
から離れて行くこ
とを考えると、家
を建てる人が少な
くなり、今までと
同じことをしてい
ても仕事が減るば
かりになります。

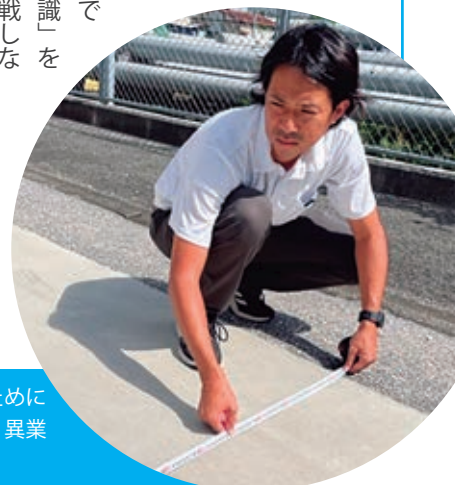
そのために既存のお客様はも
ちろん、新しいお客様を増
やしなからB to C販売にも
今まで以上に力を入れて行
きたいと考えています。

最後に、会社としてより一
層成長していけるよう「今まで
の当たり前はこれからの非常識」を
モットーに新しいことにも挑戦しな
がら今後の宇和島市の発展に貢献し
ていきたいと思っています。



有限会社 山口建具

宇和島市坂下津甲 407-72 TEL 0895-24-0217 FAX 0895-22-2558

<http://www.yamaguchi-tategu.com>


うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために
創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業
種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

いのちのはなし グーチョキパー 2

「さいしょはグー」 文 / 毛利弘子



「グーはね みんなが おかあさんのおなかにいたときに はいっていたふくろのおおきさなの」で始まる命の話の絵本です。命を育んできた身体の中のふくろの大きさは、初めは、わずかグーの大きさだったのです。「大きくなりたい」と願った赤ちゃんを守るために、そのふくろは、ちよつとずつ大きくなりました。0.1ミリの大きさをたった赤ちゃんに、「生きたい・大きくなりたい」という強い意志があったから、少しずつ大きくなりました。産まれてから困らないように、お腹の中で指しゃぶりをして、お母さんのお乳を飲む練習もしてきました。産まれる時も自分の命を守るために必死でお母さんと力を合わせました。

産まれて初めて発した言葉は「オギャー」の産声です。初めての肺呼吸で身体にさまざまな変化が起こり、自力で呼吸が始まります。「産まれたよ。ここに私はいるよ」と、自分の存在を周りのみんなに知らせることを、誰にも教えてもらわないけれど知っていました。私たちは産まれる前から、考える力、頑張る力・自分の命を守る力をもっていたのです。

「赤ちゃんてすごいね。おなかにいたときから、がんばっていたんだね」いつも子どもたちは、目をキラキラさせて、そうつぶやきました。「そつ、みんな赤ちゃんだったよね」

私たち大人は、どうでしょか。もう、すっかり赤ちゃんの時から遠くなって忘れてしまいましたね。赤ちゃんの誕生は、私たちにとって、もっとも感動的で強烈な印象をあたえるできごとです。新しい人間を形づくるために、ひとつひとつの細胞が確実に役目を果たし、人間のすべての細胞を完成させていきます。地球上の何十億にもおよぶ人達を思いえがくとき、改めて生命の誕生、人の存在に畏敬の念をいだかざるを得ません。

もう一度、考えてみませんか。命の誕生の奇跡や、いまここに生きていることへの感謝を。そうしたら、0.1ミリの大きさから始まった自分の人生を大切にすることはとえてきます。自分のことを大切にできる人は、人にも優しくなれます。みんなが優しくなれば、この世の中も、きつと生きやすくなるはずです。世界でたった一人の自分を他人と比べる必要はなく、「みんな違っていいんだから、今の自分で百点満点」と思えば、明日を生きる元氣や勇氣が湧いてくるはずです。「命を育てたところもグーいま生きている心臓の大きさもグー」いつもみんなが、にこにこ笑顔で、やさしい心でいられますように。



もうり ひろこ (著) みずせき ゆりえ (絵)
価格 1,572 円 (税込)



毛利 弘子プロフィール

1952 年生まれ 公立小中学校養護教諭を 40 年経験後 2012 年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数
●受 章 / 平成 24 年愛媛県学校保健功労賞 令和 3 年文部科学大臣学校保健功労賞
●執筆 / 「いのちのはなしグーチョキパー」(エイデル研究所出版)
●その他 / 和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
・退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
・カサヨハネ(知的障害児)放課後デイサービス非常勤講師ほか
●趣味 / 陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート

オミクロン株（B A. 5）と新しいワクチン

令和元年に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は未だ続いています。デルタ株による第5波は、令和3年9月をピークに終息しました。しかし、その後感染力の強さがデルタ株の3倍といわれるオミクロン株（B A. 1）に置き換わり、第6波の感染拡大となりました。感染者は、令和4年2月をピークに徐々に減ってきましたが、オミクロンの変異株であるB A. 2に置き換わり、感染は続きました。さらに南アフリカで発生した変異株のB A. 5は、さらに感染力が強く日本での感染も広がり、7月からの第7波の原因となっています。

患者を減らしたり、手術を延期せざるをえない状況も出てきています。

以上を目安）が確保できない中で会話を行う場合には必要ですが、それ以外の場面、例えば公園での散歩やランニング、サイクリング、徒歩や自転車での通勤、屋外で人とすれ違う場面などでは、マスクの着用が必要はありません。でも、知り合いと出会うおしゃべりすることもあるでしょうから、常に携帯はしておいたほうが良いでしょう。気温の高い時期には、熱中症予防の観点から屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことが推奨されています。また、2歳未満の子どものマスクは推奨されていません。

従来のワクチンによるオミクロン株に対する発症予防効果は、デルタ株より低く、2回目接種から2〜4週間後は65〜70%であったところ、25週間後までには15%程度に低下するとの報告もあります。重症化予防効果については比較的保たれていると言われていますが、感染者が今まで以上に増加するため重症者の数も多くなり、また強い感染力のため医療従事者の感染も増えており、それによるマンパワーの低下で入院

そのため感染力の強いオミクロン株に効果がある、従来型ワクチンとオミクロン株のスパイクタンパクを成分として含んだオミクロン株対応2価ワクチンが開発されました。そして8月にオミクロン株対応2価ワクチンの国内承認申請が、ファイザー及びモデルナ社から行われました。これらのワクチンはB A. 1に対応したワクチンですが、現在主流のB A. 5にも効果がありません。順調に承認が下りれば、これらの新しいワクチンの接種は10月中旬から行われる予定です。対象者はオミクロン株対応ワクチンの初回接種（1回目・2回目）が完了している全ての方で、宇和島市では約5万9千人の方が対象となる予定です。

B A. 5に対する対応も、今までの新型コロナウイルスへの対応と同じで、感染予防の基本的な対策は、これまでと変わりません。三密を避け、咳エチケットや手洗い、屋内の換気をこまめに行ってください。なお、マスクは他者と身体的距離（2m



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

みかんの季節が始まりました！

はじめまして。私は、管

理栄養士として宇和島市内に勤務

しています。「栄養士」という職業上、本

来であれば健康的な食生活について語る

べきところですが、おいしい物が大好き

な食いしん坊なので「食めぐり」と題し

「地元食材」「地域の食文化」等も含めて

幅広く、読者の皆様と一緒に南予の食を

めぐっていききたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひします。

宇和島の山々では、温州みかんが色づ

き始めています。これから味わいが増し

冷え込みが深まる11月頃に、早生（わせ）

温州みかんが収穫の最盛期を迎えます。

宇和島市では、この早生温州を皮切りに、

中生（なかくて）温州、晩生（おくて）温

州、中晩柑…と、翌年の初夏まで様々な

おいしい柑橘が楽しめます。

道の駅や店頭にたくさん並び、温州みか

ん。皆さんは、どのように購入されてい

ますか。私はみかん売り場を行ったり来

たり…往復しながら「おいしいみかん」

を見つけて楽しんでいます。そして、「こ

れだー」と思ったみかんを購入して、お

家で早速食べてみる。目利きが成功した

時が、至福のひとつです。

「選んで食べる」食育においても、大切

◎温州みかんの目利きをご紹介します。

・色づきがよくて、実に張りがある。

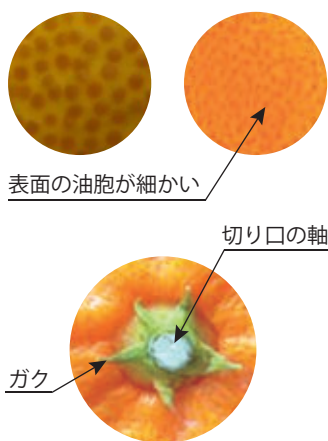
・油胞が細かく、表面がなめらかでツヤ

がある。

・重みを感じられるもの。

・ガクが、うすい黄緑色をしている。

・切り口の軸が細いもの。



表面の油胞が細かい

切り口の軸

ガク

温州みかんは、栄養的にも大変優れた

食品です。豊富に含まれるビタミンCは、

皮膚や粘膜の健康維持を助ける美容効果

の高い栄養素です。温州ミカンを3個食

べると、大人が一日に必要なビタミンC

を満たすことができます。

また、果肉の袋に含まれる整腸作用が

期待できる「ペクチン」、抗酸化作用（若

返り効果）が期待できる「ヘスペリジン」、

がん予防効果が期待できる「β-クリプ

トキサンチン」など、様々な機能性成分

も報告されています。



鶏肉のみかん照り焼き

（材料）2人分

鶏もも肉 …… 200g
みかん果汁 …… 100ml
砂糖 …… 小さじ2
しょうゆ …… 小さじ2
サラダ油 …… 適宜
塩コショウ …… 適宜

（作り方）

- ①レモン絞り器で、みかんの果汁をしぼる。
- ②鶏肉は食べやすい大きさに切り、塩コショウする。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、鶏肉の表面を焼く。鶏肉が色づいたら、みかん果汁、砂糖、しょうゆを入れて（タレがからむ程度）煮詰める。

※柑橘の風味が漂う照り焼きです。みかんが鶏の臭みを消すことにより、一層おいしく仕上がります。



みかんチーズホットケーキ

（材料）4人分

ホットケーキミックス 150g
卵 …… 1個
みかん果汁 …… 100ml
クリームチーズ …… 50g
サラダ油 …… 適宜

（作り方）

- ①レモン絞り器で、みかんの果汁をしぼる。
- ②ボールに卵とみかん果汁を入れてよく混ぜる。ホットケーキミックスも加え、軽く混ぜ合わせる。
- ③1cm角に切ったクリームチーズを加え、形が残る程度に混ぜ合わせる。
- ④フライパンに油をひき、③を焼く。

【みかんシロップ】みかん果汁 50ml、グラニュー糖 15g を、フライパンで（泡立つ程度）煮詰めてかける。



和田 広美

管理栄養士

柑橘ソムリエ

シーフードマイスター

愛媛大学地域再生マネージャー

お気楽 俳句

秋から冬の水辺でビュービューという切ない鳴き声を耳にしたことはありませんか？

「あれは緋鳥鴨^{ひトリかも}という渡り鳥なんよ」と教えてくれたのは俳号鯛飯さん。宇和島市津島町出身、調律を仕事とし、鳥とサックスを愛し、どぶろくNASSOのファンでもありました。何年前だったか、宇和島東高校の生徒たちと一緒に岩松吟行したことも。

昨秋急逝されたあと娘さんがまとめた句集『音満ちてより』と、南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」天の句から一部を紹介します。（小野更紗）

鹿鳴いてふつつ^{にかわ}膠溶かす夜

千枚の棚田のてつぺんの良夜

天高し鳥を数えるための椅子

祝祭や冬青空へ放つ菓子

数え日の素うどんに盛るねぎ多め

冬三日月あすは伐採する大樹

ごんずいの群れなば水の耳鳴りす

四万十は眩しくあるか山葵漬^{わさびづけ}

ヴィブラートの指は桜に触れし指

射的屋のキューピーを撃つさくらの夜

鍵盤に憂いの指を置く暮春

焼鰯^{やきあじ}の小骨ちまちまさつまはまだか



*ホゴ: カサゴ、ガシラ
ゼンゴ: 小アジ

絵: 律川エレキ
1966年宇和島市生まれ
奈良市在住
2000年頃より俳句新聞
や俳句マガジン等に挿
絵を描く。映像作家



句集『音満ちてより』は
こちらから

*色文字が季語です

ねじ穴はゆるいしアイス溶けだすし
くちばしに米搗蟹^{こめつきかに}を食った砂
人殴りし拳に汗とぬり薬
カンガルーの炎暑蹴り上げそつな面^{つら}

おすすめの本

瓢箪から人生

著者/夏井いつき 小学館 ¥1,485 (税込)

いつきさん 65歳の夏、30年以上続けてきた「俳句の種蒔き運動」の中で出会った忘れ得ぬ人
たちを綴った徒然記が1冊のエッセイ集になった。

どの文章からも、その光景がありありと目前に広がってくる。知らぬ間に自身の経験も思い出し、
泣いたり大笑いしながら読んだ。彼女は、どんな集団に放り込まれても、いつの間にか周りには
人・人・人だらけ!! 懐の深さと嘘のない言葉に私達は吸い寄せられる。磁石のような人だ。
忘れられないページがある (154ページ)。

「誰かの偽物になるために俳句をするのか。私は " いつき 1号 " になるしかない」

胸に刺さった!! この言葉の裏にどれだけの苦労と努力があったかと・・・。



協力: 岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528



■アトリエ堀端絵画教室(べにばら画廊) <https://benibara.webhop.info/>

宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント: 吉田 淳治



作品名:『濤声(とうせい)』(鉛筆)

作者: 梅田一三 (大人クラス)

受験用デッサンなどとは一味ちがう。
何かのためではなく、描きたいから描く。
モチーフに感応し、黙々と手を動かす。
現れるのは梅田さんの線、鉛筆の色。
一点の絵画として見る個のリアリティ。



作品名:『夏のもののいっぱい』(水彩・クレパス)

作者: 船田怜那 (子どもクラス)

真っ赤なスイカ! リズミカルな黒い種。
楽しそうに周りを囲む、虫、花、アイス。
たった6回目の夏にしてこんなに豊か。
スイカをよく描いたのはメキシコの画家タマヨ。
ここには日本の夏、れなちゃんの夏がある。



作品名:『ハートのかくれんぼ』(水彩)

作者: 高木愛子 (子どもクラス)

光いっぱい、黄色に輝く世界。
吸い寄せられ集まる仲間たち。
赤い小さなハートでやさしくつながる。
一番たいせつなハートはどこに?
あいちゃんは見つけることができるかな。



■アトリエぱれっと <https://art-palette.wixsite.com/mysite>

宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 yuka@art-palette.com コメント: 清家由佳



作品名:『花孔雀』(アクリル混合)

作者: 奥野充子

いつも明るくて優しい性格が、作品にも表れています。充子さんの作品を見ていると、エネルギーが湧いてきて幸せな気持ちにしてくれます。次々とアイデアを形にされるそのパワーに脱帽です。これからの作品も楽しみです。



作品名:『手』(鉛筆)

作者: 岡本真穂子

絵を描くことが好きという気持ちがとても伝わってきます。奥深い鉛筆のタッチに思わず引き込まれそうになります。これからもどんどん制作して良い作品を残してほしいと思います。



作品名:『黄金の風景』(油絵)

作者: 上甲喜代

とても美しい黄色と青の風景画。絵の世界に飛び込みたくなるような幸せで、ほのぼのとした世界観が素敵です。いつも皆を優しく包み込むような喜代さん。これからの作品も楽しみにしています。

世界で認められた切り絵作家

蒼山日菜 レース切り絵体験教室

期日 10月23日(日) 13:00 ~ 16:00

場所 ギャラリー&絵画教室 アトリエぱれっと



大人も子どもも楽しめる

地域の学び舎創造イベント

キャンパスが提案する

今年の世相を漢字一字で表現する年末の風物詩

今年の漢字® がやって来る!!

期日 11月19日(土)・20日(日) 四国初展示!

場所 道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場

今年の漢字® 全26文字レプリカ展 in 宇和島

内容 今年の漢字® 投票会
地域の学び舎 体験活動

STEAM
体験教室



SDGs 貢献プロジェクトの一環として行う「地域の学び舎創造イベント」です。ここ宇和島で、本物の芸術文化に触れ、誰もが創造表現活動の楽しさを体験できる機会を創りだしていきます。

今回ご案内するスペシャルイベントは、『蒼山日菜レース切り絵体験教室』と『今年の漢字® がやって来る with STEAM教育』の二つです。

蒼山氏は、世界で認められた切り絵作家で、ニースウィーク「世界が尊敬する100人の日本人」に登録されました。西日本豪雨災害時には宇和島に來られ、復旧・復興のための大きな御支援をいただきました。今回のワークショップを通して、本物の芸術を学ぶことができます。

「今年の漢字」は、今年の世相を漢字一字で表現する年末の風物詩として、27年目を迎えています。主催する「公益財団法人日本漢字能力検定協会」の御厚意により、これまでの全26文字のレプリカが宇和島にやって来ます。全国でも、なかなか実現できない企画で、当日は、2022年の投票もできます。

「一般社団法人キャンパス」では、今後、このような活動を行ってまいりますので、御理解、御協力をお願いいたします。



一般社団法人キャンパス
代表理事
清家由佳

まさやくん 4

オサワヒロ



鉄道唱歌で知られる宇和島出身の大和田建樹（詩人、作詞家）が、父と登った城山の想い出を綴った一節からは、故郷宇和島と父を思う気持ちが、しみじみと伝わってきます。



作者プロフィール

本名 / 城内 章 1957 年 宇和島生まれ 愛知県在住
宇和島南高等学校卒 職業 / 建設業
趣味 / 漫画イラスト作成
著書に「のらとおばあちゃんの虹」

Tosyu Hyappen

斗酒百篇



だいしち

大七 純米生酏・生詰め

720ml 1,500 円 1.8L 3,000 円 (価格は税込)

※写真は 720ml

大七酒造 (株) 福島県二本松市

生酏といえば大七！ 大七といえば生酏！と言うくらい生酏（きもと）に徹底的にこだわり、今も進化を続けている大七酒造の純米生酏です。

その生酏って何かご存知ですか？ 日本酒に詳しい人ならいざ知らず、そんなに見かけないし、分からないですよええ。

『生酏造り』という昔ながらの製法で、米と米麹をすり潰して乳酸菌を一から培養するという、とっても手間と時間のかかる造り方のことなんです。

自然な乳酸菌や酵素の力から生み出されるお酒なので力強く複雑な味わい、そして料理も引き立ててくれるものになるんです。フルーティーでスッキリとした夏の吟醸酒も美味しいですが、まろやかで爽やかな香味をそのままに、ひと夏を越した熟成感のある舌触りの純米酒生酏。ゆっくりと楽しんでみませんか？ 旬のお料理もきっと美味しくなりますよ！

たかむら酒の店

宇和島市神田川原 90 ☎ 0895-22-0624



<http://taka-sake.o.oo7.jp/>



※斗酒百篇（としゅひゃっぺん）とは たくさんのお酒を飲みながら、たくさんのお酒を作ること。 古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白のことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字／矢間大蔵



うわしん WEB完結ローン 取扱いスタート！



うわしん



<https://www.shinkin.co.jp/uwajima/>



WEB完結OK カーライフプラン

通常金利 年3.4%
特別金利 年2.9%
(固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内(元金返済据置期間は6ヵ月)
- ご融資金額/1,000万円以内(1万円単位)
- お使いみち/新車購入、中古車購入、バイク購入、電動アシスト自転車購入、パーツ・オプションの購入・取付、免許取得、車検・修理、自動車保険、車庫設置、自動車購入資金の借換(申込本人が借入したローンに限る)
- 保証料/金利に含まれます。

WEB完結OK 教育プラン

通常金利 年2.6%
特別金利 年2.1%
(固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上16年以内(元金返済据置は卒業予定月まで)
- ご融資金額/1,000万円以内(1万円単位)
- お使いみち/申込人または申込人の子弟、扶養親族が学校(教育施設)に入学または在学するために必要な資金 ●幼稚園から大学、大学院、(法科大学院含む)、専門学校、各種学校、予備校などの学校納付金(入学金・授業料など)最長1年分 ●教材費、下宿費用、引越費用、受験費用、交通費等の1年分の付帯費用(100万円以内) ●留学費用 ●教育関連資金の借換資金
- 保証料/金利に含まれます。

WEB完結OK フリーローン

ご融資利率 年4.00% ~ 年10.00%
(固定金利/保証料込み)

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内(1万円単位)
- お使いみち/自由(事業性資金・おまとめ資金も可)
- 保証料/金利に含まれます。
- ご融資利率/4.0%、7.5%、10.0%(保証料込み)
- ※保証審査によりご融資利率が決定します。

WEB完結OK カードローン

ご融資利率 年16.50%
※ただし、貸越極度額100万円または、当金庫の借入残高が100万円以上の方は年14.6%(保証料含む)

- ご契約期間/2年(自動更新)
※満70歳以上の方は更新できません。
- 貸越極度額/50万円、100万円
- お使いみち/自由
- 保証料/金利に含まれます。

リピート優遇 カーライフプラン…… ▲0.2% 教育プラン…… ▲0.1%

特別金利
キャンペーン
金利引き下げ幅
年▲0.5%
下記の項目で2項目以上該当する方
①当金庫の住宅ローンをご利用されている方
②公共料金の口座振替を当金庫で行っている方、または変更された方(同居家族の方のご利用も対象)
③年金受取を当金庫で行っている方、または変更された方(同居家族の方も対象)
④給与振込を当金庫でご利用になっている方、または変更された方(申込みご本人様に限る)
⑤カードローンを同時にお申し込みの方、すでに契約済みの方
⑥四国VISAカードを同時にお申込みの方、すでに契約済みの方

- 実際に借入いただく日の金利が適用となり、お申込時の金利と異なる場合があります。
- 「一社」しんきん保証基金が保証しますので担保・保証人は不要です。
- 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- 金融情勢の変化などにより内容を変更・中止させていただく場合がございます。
- 毎月のご返済額等につきましては、本支店窓口で試算いたしますので、お気軽にお問合せください。
- 詳しくは、本支店窓口までお問合せください。なお、窓口には商品概要説明書をご用意しております。

「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

- 宇和島市役所ロビー ●津島支所 ●吉田支所 ●三間支所 ●中央図書館 ●吉田図書館 ●中央図書館津島分館 ●生涯学習センター
- パフィオうわじま ●宇和島市立病院ロビー ●市立伊達博物館 ●宇和島市立歴史資料館 ●きさいや広場 ●道の駅みま ●シロシタ
- 畦地梅太郎記念美術館 ●宇和島商工会議所 ●盛運汽船 ●かどや(駅前本店・弁天町店・味奈味) ●ハイウェイレストラン宇和島 ●和日輔
- 南楽園 ●福 DON ●岩崎書店 ●木屋旅館 ●はまゆう薬局 ●ひまわり薬局 ●小野商店(津島) ●安藤コーヒー ●べにばら画廊
- アトリエぱれっと ●あすも(津島) ●JR宇和島駅 ●JR松山駅 ●香川・愛媛 せとうち旬彩館(東京)
- 宇和島信用金庫各支店 その他 ※宇和島市の「宇和島クラブ」に協賛業者として登録しています。

「つなぐ」の発行は、新春号(1月)、春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)です。



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —